

<庁舎計画>

●階構成 明快で分かりやすい庁舎の階構成

1階に分かりやすく集約した窓口部門

・市民利用の多い窓口部門を1階に集約することで、市民の窓口手続きの利便性を高めます。

歴史文化伝承館と連携がしやすい2階の会議室

・2階に市民利用が可能な会議室ゾーンを集約し、市民利用のしやすさと歴史文化伝承館との連携に配慮します。  
 ・会議室は楽屋としても利用できるよう演者動線に配慮します。  
 ・歴史文化伝承館の公民館ゾーンとも連携しやすい配置とします。

3階に災害時には災害対策本部となる執行部

・3階には市長、副市長室をはじめ、災害時の災害対策本部機能となる諸室を配置します。

独立性の高い4階に議場

・独立性の高い最上階に議場及び議会関係諸室を配置します。

地下に配置した書庫・機械室

・地階に書庫・機械室を配置します。

●分かりやすさに配慮した動線計画

分かりやすい位置に出入口・エレベーター・階段を設置

・視認性の高い位置に主出入口、エレベーター、大階段を設置し、来庁者の移動のしやすさに配慮します。また、避難階段を適切に設置し市職員の移動の主動線とします。

時間外・休日のセキュリティに配慮

・時間外・休日窓口や開館時間の違う会議室ゾーン・市民会館とのセキュリティに配慮します。

歴史文化伝承館との連携(地下・地上)

・歴史文化伝承館とは、1階との連携に加え、地下1階の地下通路と2階の連絡通路により接続し、双方の施設の連携を図ります。

●窓口部門の計画

使いやすさ・分かりやすさに配慮した窓口部門

・窓口部門は見通しのきく開放的な空間としながら、来庁者へのプライバシーに配慮したカウンターレイアウトとします。  
 ・各庁舎の出入口に近接して総合案内サインを設けるとともに、部課ごとに分かりやすいサインを設け、視認性に配慮します。  
 ・さらに、スムーズな案内を可能とするために、庁舎主出入口の付近に総合案内カウンターを設置します。

休日窓口にも配慮した分かりやすい窓口ゾーニング

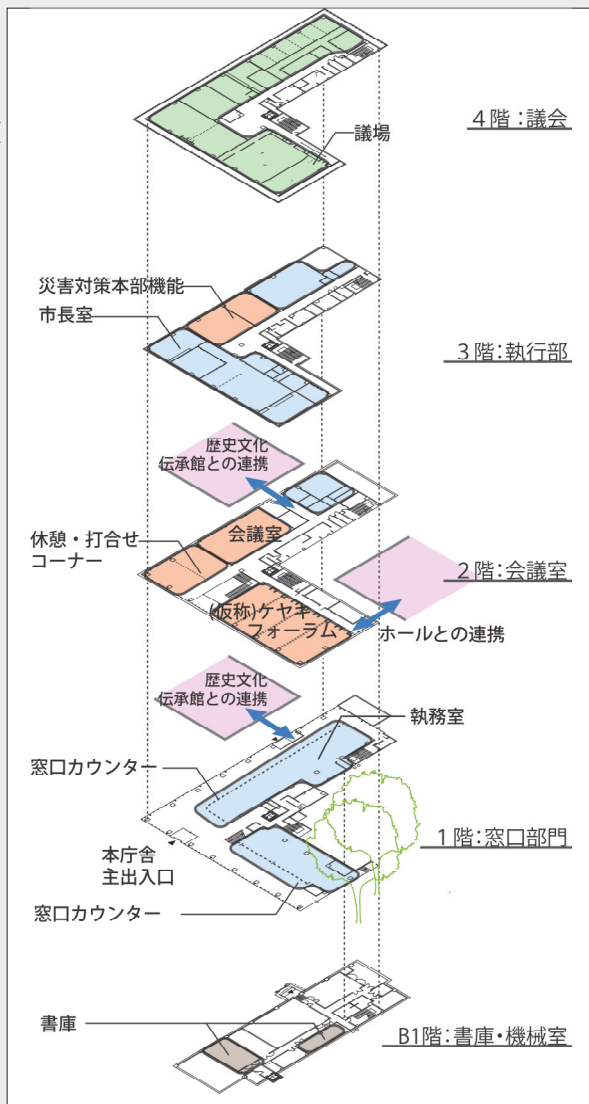
・休日窓口等のセキュリティに配慮した分かりやすい部課のゾーニングとします。

執務空間の合理化・将来を見据えたフレキシビリティ

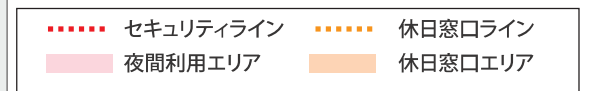
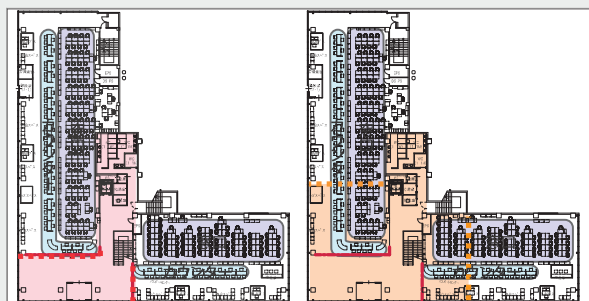
・証明や謄本類の電子情報化など今後の庁舎サービスの変化を見据え柔軟に対応可能なフレキシビリティ(床荷重、間仕切りレイアウト、照明空調レイアウト、機器更新のしやすさ等)を確保します。

明るい待合空間

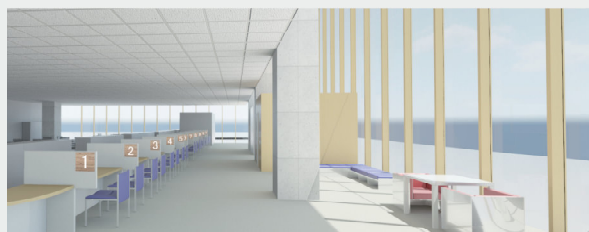
・待合空間は外部の窓際に配置し、明るい空間とします。  
 ・受付呼び出し表示、交付呼び出し表示等の案内表示システム導入を検討します。



●庁舎配置動線計画イメージ



●夜間、休日利用時のゾーニング



●窓口部門レイアウトイメージ

●待合・会議室

低層部に市民参画・市民利用の空間「コラボレーションスペース」

・市民が気軽に立ち寄ることの出来る市民利用スペースとして、1階窓際に待合や展示情報スペースを設置します。  
 ・2階の休憩打合せスペースとともに、市民が日常利用できる場として、これからのまちづくりの拠点の場をつくります。

利用者のニーズやプライバシーに配慮

・キッズコーナーなど、利用者のニーズにそくした待合空間をしつらえ、市民が気兼ねなく窓口相談ができるようにプライバシーに配慮した相談ブースを設けます。

コンサートやギャラリーに利用できる会議室「(仮称)ケヤキフォーラム」

・2階のケヤキフォーラムは大階段・エレベーターを使いアクセスのしやすい位置に配置し、イベント利用のしやすさに配慮します。平土間のホールとしての機能を有しながら、分割利用によって分科会や異種用途の会議等に利用できるマルチスペースとします。  
 ・ケヤキフォーラムの壁面は、会議・講演会に対応した中程度の遮音を行い、アンプを利用しない生音を主体としたミニコンサートも可能とします。  
 ・ホールにて大人数の楽屋控室が必要な場合には、楽屋との連携可能な動線を確保し、楽屋・控室としての利用を可能とします。  
 ・東面のケヤキ側、南面の武甲山側に窓開口を設け、時にはケヤキ、武甲山を望みながらイベント利用も可能とします。

●災害対策本部となる執行部門

災害対策本部となる会議スペースを確保

・災害発生時には迅速な対応が可能となるよう災害対策本部室となる会議室を市長室・副市長室に近接して設置します。

●議会部門

コンパクトでフレキシビリティに配慮した議場

・議場はコンパクトかつ、フレキシビリティに配慮し、床のしつらえも床組みとする等、将来の議員数の増減にも柔軟に対応可能とします。

秩父を感じる質実剛健な内装

・内装材に秩父産木材を活用した質実な内装とし、武甲山の眺望を借景にした秩父らしさを感じることが出来る議場とします。

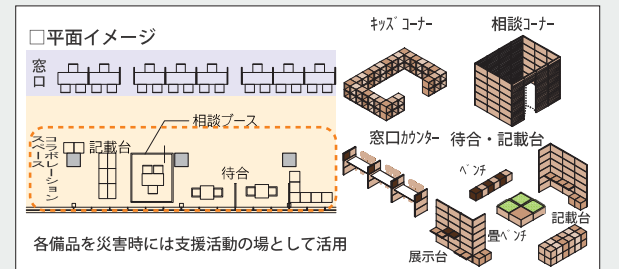
委員会に対応し2分割利用可能な全員協議会室

・全員協議会室は2分割利用可能とし、別途設置した委員会室と併せて3委員会が同時開催可能とします。

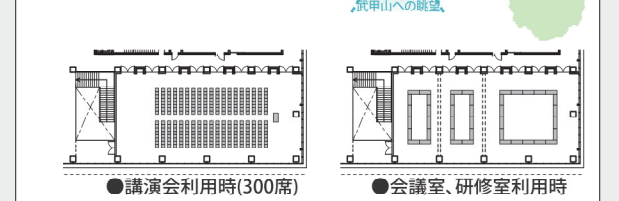
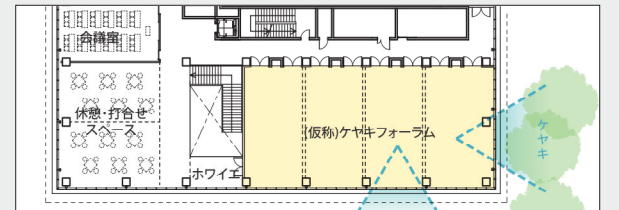
●バリアフリーに配慮した各部計画

バリアフリーに配慮した各部計画を行います

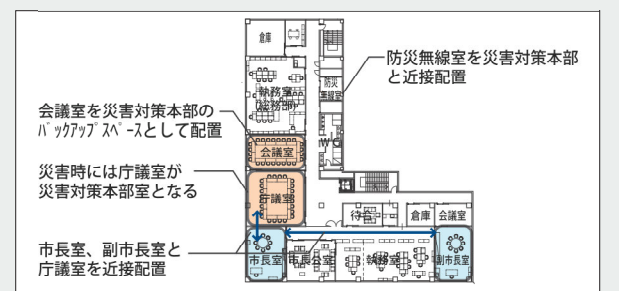
・床は滑りにくく、音の発生しない床材を選択するとともに、段差を極力なくした計画とします。  
 ・トイレは用途に応じて必要なブース、便器の数を用意します。また、多目的トイレを設置します。  
 ・誰もが分かりやすいピクトサインを主体として採用し、文字の大きさ、色の明度差に配慮したサインを分かりやすい場所に設置します。  
 ・備え付けカウンター等については出来る限り木材を利用した温かみのあるものを採用します。



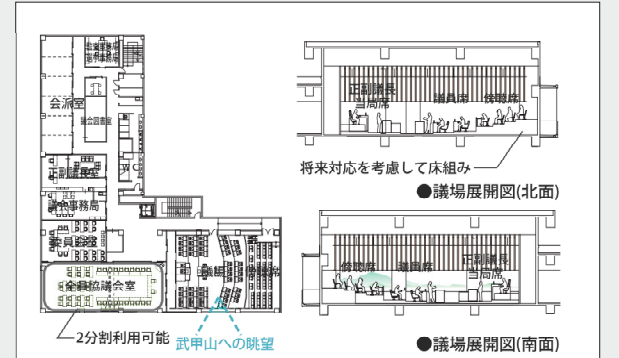
●コラボレーションスペースのイメージ



●ケヤキフォーラム



●執行部門のレイアウト



●議会フロア・議場内観



●バリアフリーのイメージ